

事業報告

自 平成22年4月 1日

至 平成23年3月31日

I 事業の概況

1 事業の経過及び成果

当期の経済状況は、訪日外国人観光客の増加等に伴い、リーマンショック後の経済危機を克服したものの、デフレ状況が続き、秋ころから急速な円高の進行や、中東情勢の不安定化から、非常に厳しい状況となりました。

こうした中、航空業界においては、全国的な乗降客の減少等により、各航空会社は、機材の小型化並びに不採算路線からの撤退、減便が進み、各空港に大きな影響が出てきているところであります。

当空港においては、平成22年6月末をもってANAが、札幌丘珠空港路線から撤退した影響から、年間乗降客数は、155,031人となり、対前年度比172,106人の減(52.6%の減)、搭乗率56.9%(2.2ポイントの増)となったところであります。

【路線別 乗降客数】

路線	実就航便数 (便)	乗降客数 (人)	乗降客数		搭乗率 (%)	対前年度比 (ポイント)
			構成比 (%)	対前年度比 (%)		
函館	3,314	81,459	52.6	△33.5	60.1	5.1
釧路	1,841	39,636	25.6	△37.9	52.0	5.2
根室中標津	546	19,431	12.5	△76.1	63.5	△4.2
女満別	364	9,819	6.3	△76.1	48.2	△3.2
稚内	180	4,686	3.0	△73.8	46.5	△0.1
合計	6,245	155,031	100.0	△52.6	56.9	2.2

2 経営状況

営業収益については、平成22年6月をもってANAが、札幌丘珠空港から撤退した関係から、87,546千円(対前年度比48.6%減)と大幅に減少し、営業費用については、ANA撤退に伴う原状復旧工事等により大幅に増加したものの、不要不急な支出及び経費の徹底的な節減を図った結果、131,168千円(対前年度比3.8%減)となり、営業損失金額は、43,622千円、経常損失金額は、21,996千円となりました。

最終的に税引後の当期純損失金額は、22,971千円となったところであります。

また、資金の状況については、可能な限り設備投資や支出を抑制しましたが、大幅な減収が影響し、188,581千円(対前年度比42,933千円・18.5%減)となったところであります。

3 今後対処すべき課題

当空港においては、株式会社北海道エアシステムが、平成23年6月に丘珠空港へ集約されることで、1日11から13往復運航されることが見込まれており、道内航空ネットワークの拠点空港として新たな出発を迎えることとなります。

一方で、昨年6月末をもってANAが、札幌丘珠空港路線から撤退したことから、当時の乗降客数と比較しても、半分程度しか戻らない状況が見込まれており、当社及び当空港を取り巻く環境は、厳しい状況となりました。

このような状況下から、当社の経営状況は、今後も厳しい状況が見込まれていることから、費用の更なる削減を図るとともに、賃貸スペースの新設及び広告収入の増収に向けた営業強化を行い、経営の安定化を図るべく努力して参ります。

更には、当空港の更なる付加価値を高めるため、株式会社北海道エアシステムをはじめ、北海道、札幌市、経済界、就航先空港ビル会社等の関係者と連携し、搭乗率向上対策としての、観光客誘致等土・日・祝祭日の利用拡大を図るとともに、乗降客以外の集客対策としての産直市、ロビーコンサート、等各種イベントの開催、更には、空港機能施設事業者の役割としての利用者サービス向上に取り組んで参ります。

今後とも札幌の空の玄関口として、地域に愛される空港を目指します。

4 設備投資の状況

今期は、当空港ビル非常用蓄電池の交換及び到着ロビーの改修工事等3,656千円の建設改良事業を行ったところであります。

5 資金調達の状況

当期中に実施した設備投資の所用資金(3,656千円)はすべて自己資金を充当いたしました。

6 入居者(平成23年3月31日現在)

① 航空会社

株式会社北海道エアシステム

② 飲食店

おかだま食堂 (株式会社中央調剤)

③ 物販店

ノールマルシェ (札幌製菓株式会社)

④ レンタカー

株式会社トヨタレンタリース札幌

ニッポンレンタカー北海道株式会社

株式会社日産カーレンタルソリューション

三愛自動車工業株式会社

⑤ その他

北海道札幌方面東警察署丘珠空港警備派出所

国際航空給油株式会社

株式会社ジーエム北都

北都交通株式会社

株式会社日本空港コンサルタンツ

7 業績の推移

単位 千円

回次	第18期	第19期	第20期	第21期 (当期)
決算年月	平成20年3月	平成21年3月	平成22年3月	平成23年3月
営業収益	133,410	151,953	170,461	87,546
営業損益金額	-1,129	29,706	34,170	-43,622
経常損益金額	7,418	31,185	31,115	-21,996
当期純損益金額	-6,251	16,756	16,542	-22,971
一株当たり 当期純損益金額	-628 円	1,682 円	1,661 円	-2,306 円
総資産	719,314	748,449	773,981	721,234
純資産	675,595	692,351	708,893	685,922

記載金額は千円未満を端数処理しております。

II 会社概要 (平成23年3月31日現在)

1 主要な事業内容

貸室並びに空港利用施設の賃貸業、航空事業社及び航空旅客に対する
役務提供等

2 株式の状況

- | | |
|------------------|----------|
| (1) 会社が発行する株式の総数 | 34,320 株 |
| (2) 発行済株式の総数 | 9,960 株 |
| (3) 当期末株主数 | 10 名 |

3 株主の状況

株主名	株数(株)	持株比率(%)	株主に対する出資
札幌市	2,600	26.11	0
エアーニッポン(株)	2,500	25.10	0
北海道	1,300	13.05	0
(株)日本政策投資銀行	1,300	13.05	0
札幌商工会議所	862	8.66	0
(株)北洋銀行	498	5.00	0
(株)北海道銀行	450	4.52	0
北海道電力(株)	200	2.01	0
北栄保険サービス(株)	150	1.50	0
北海道瓦斯(株)	100	1.00	0

4 取締役及び監査役

代表取締役社長	中田博幸
常務取締役	田中重男
取締役	相原重則
	武田裕二
	大倉俊司
	高田敏春
	小林良輔
	津元淳
	高橋賢友
	花坂耕一
監査役	佐藤馨
	井上唯文

当期中の退任取締役

取締役	吉岡亨	(平成22年6月23日退任)
取締役	松倉寛	明 (平成22年6月23日退任)
取締役	檜森聖一	(平成22年6月23日退任)
取締役	近藤政道	(平成22年6月23日退任)
取締役	丸田剛久	(平成23年1月27日退任)
取締役	荒木啓文	(平成23年3月3日退任)

5 主要な借入先・借入残額等

なし

6 従業員の状況

単位 人

男・女別及び人員	
男性	1
女性	1
合計	2